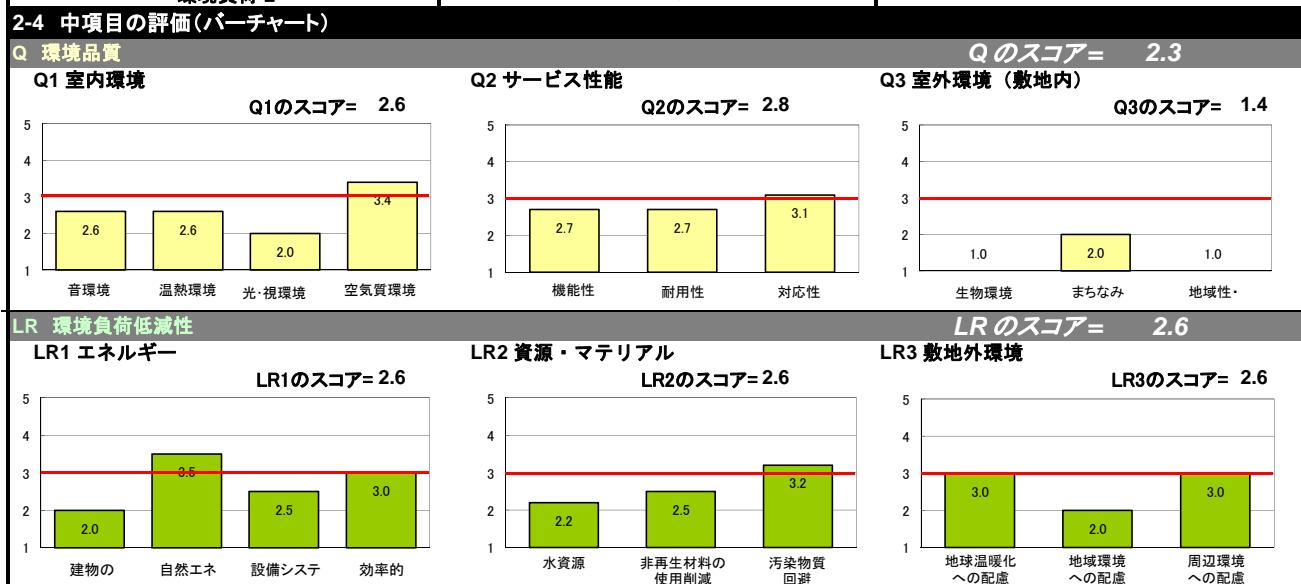
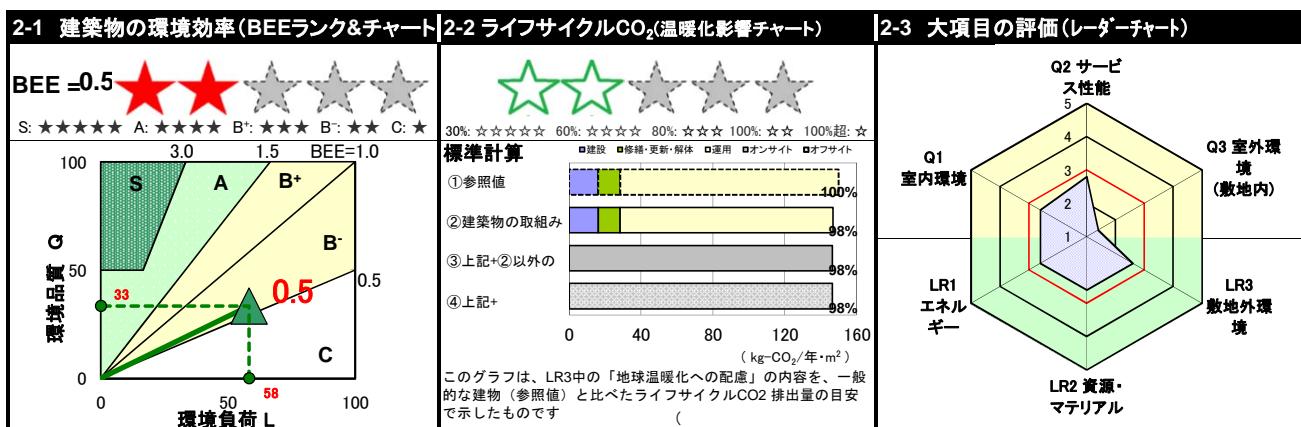


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	コーナンハ幡一ノ坪店	階数	地上1F
建設地	京都府八幡市八幡一ノ坪117-5番	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	750 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2012年4月27日
敷地面積	32,760 m ²	作成者	茶谷 亜彦
建築面積	3,166 m ²	確認日	2012年4月27日
延床面積	2,953 m ²	確認者	松本 宏一



3 設計上の配慮事項		その他
総合		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 とにかく安く仕上げる。余計なものは設置しない。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 空調の効きが極端にわるくならない様注意した。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ソフト面で対応するため特になし。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 人の動線、駐車場動線に配慮し、開発許可でもとめられる緑地を設置した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省エネ法でもとめられる基準を最低確保した。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される